

ニュースレターを発行して、皆さんの受験を応援します！

皆さんは、国試の平均合格率（全国）が前回急上昇したことや、次回から加わる新しい科目の情報をご存じですか？努力はもちろん大切ですが、国試の情報を入手し対策を立てながら学習していくことも重要です。このニュースレターではそういった情報もお届けする予定です。

本号では、国試対策委員長の伊藤美智予先生からのメッセージをはじめ、過去問の活用や参考書の情報等、学習のヒントとなる情報（末盛先生）、合格に近づくための目標数値（斉藤先生）等を掲載しています。ぜひご覧いただき新年度からの学習にお役立てください！

このニュースレターは4年生向けの情報中心になりますが、既卒者の皆さんの参考になる情報も含まれています。皆さんの受験を応援しています🍀！（編集担当：横山由香里）

国家試験ニュースレター発行に寄せたメッセージ

伊藤美智予

いよいよ新年度が始まりました。皆さんたちにとっては、国家試験受験までの長い道のりのスタートラインですね。私たち教職員も、様々な方法で皆さんの受験勉強を応援していきます。応援方法の軸となるのが、この国家試験ニュースレターの発行です。ニュースレターでは、「先生方からの激励メッセージ」「先輩の合格体験記」「受験についての留意事項」「模試や受験対策講座等の案内」など、皆さんに役立つ情報をお届けします。

ぜひ、毎回の国家試験ニュースレターに目を通して、その時々々の必要事項を押さえながら、モチベーションを高めて受験勉強を続けていってください。最後まで一緒に頑張ってください。

■国家試験をサポートする様々な企画■

特別講座の授業内で、模試や対策講座（授業以外）の案内をします。

有料のものも含まれていますが、合格に向けて受験・受講をおすすめします。

長期休暇や土日に実施することが多いので、授業や掲示板の情報を参考に予定を組みましょう。





ついに社会福祉士国家試験がやってくる！ 合格するための学習の進め方



末盛 慶

4年生へのご進級おめでとうございます。あと大学生生活も1年ですね。悔いのないよう1日1日を過ごしていきましょう。今年度、社会福祉士国家試験の受験がやってきます。

毎年ギリギリ不合格になる学生がいます。先輩は「後輩にはこうした思いは絶対にして欲しくない」と言っています。悔しい思いをしないために社士の学習の基本を理解しましょう。

社会福祉士国家試験ってどんな試験なの？

まず社会福祉士国家試験を確認しましょう。今年から試験科目の構成が変わります。みなさんは新カリキュラムで国家試験を受ける最初の年となります。試験科目の以下の19科目となっています。

(共通科目)

- ① 医学概論
- ② 心理学と心理的支援
- ③ 社会学と社会システム
- ④ 社会福祉の原理と政策
- ⑤ 社会保障
- ⑥ 権利擁護を支える法制度
- ⑦ 地域福祉と包括的支援体制
- ⑧ 障害者福祉
- ⑨ 刑事司法と福祉
- ⑩ ソーシャルワークの基盤と専門職
- ⑪ ソーシャルワークの理論と方法
- ⑫ 社会福祉調査の基礎

(専門科目)

- ⑬ 高齢者福祉
- ⑭ 児童・家庭福祉
- ⑮ 貧困に対する支援
- ⑯ 保健医療と福祉
- ⑰ ソーシャルワークの基盤と専門職 (専門)
- ⑱ ソーシャルワークの理論と方法 (専門)
- ⑲ 福祉サービスの組織と経営

みんなが受けるのは
この19科目
そんなに変わらないよ♪



新試験になることでこれまで以上に、①基礎的・標準的な問題の増加、②事例問題の増加などが予想されますが、多くの科目や内容はこれまでの国家試験を引き継いでいます。そのため、合格に向けてはこれまでと同様に過去問の頻出分野を中心に徹底的に学習を進めることが重要になります。では、どのように重点的に学習を進めればいいのでしょうか？

毎年でる問題があるってホント？

実は各科目毎年出題される問題があります。各科目ある程度出る分野がわかっています。では、どうやって出題される分野がわかるのでしょうか。

出題される問題は出題基準と出題傾向を見ればわかります。以下にある表は「貧困に対す

る支援(旧:低所得者に対する支援と生活保護制度)」の出題傾向の抜粋です。これを見ると、生活保護費、保護率、生活扶助そして生活保護法の理解を問う問題はほぼ毎年出題されていることがわかります。一方、低所得者の実態や社会情勢に関してはあまり出題されていないことがわかります。これだけみても頻出分野がどこなのかが一目でわかります。

出題傾向を確認しながら、頻出問題から学習を進めていきましょう(出題傾向は各社の過去問集に掲載されています。頻出問題の確認が合格への近道になります。)

中項目	小項目(例示)	第31回	第32回	第33回	第34回	第35回
1) 低所得者層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢, 福祉需要	・低所得者層の生活実態とこれを取り巻く社会情勢, 福祉需要の実態 ・生活困窮者の支援 ・その他	【63】*				
2) 生活保護費と保護率の動向	・生活扶助, 医療扶助, その他の扶助等の動向	【63】*	【63】	【63】		【63】
1) 生活保護法の概要	・生活保護法の目的, 基本原理, 保護の原則, 保護の種類と内容, 保護の実施機関と実施体制, 保護の財源, 保護施設の種類, 被保護者の権利及び義務, 生活保護の最近の動向 ・その他	【64】 【65】 【66】	【64】 【65】 【68】	【64】 【65】 【66】	【63】 【64】* 【65】 【66】 【67】*	【64】 【65】 【66】 【69】*

合格した先輩からのコトバ「過去問をきちんと取り組むことが大切です」

先輩も行ってきた社士合格の学習法は「過去問を何回も解き、内容を理解すること」です。これは学習法として一番合格への近道になります。合格した先輩たちの過去問活用法は以下の通りです。

- ① まず過去問を解いてみる。
- ② 自分が出した回答の正解・不正解を確認する(間違っても全然OK☆彡)。
- ③ あらためて5つの選択肢各々の内容を理解する。手元にある過去問集の解説をみて5つの選択肢各々の内容を理解する。そして間違っている選択肢の文章のどこをどう直せば正解になるのかを理解する(←ここが重要)。もし過去問の解説でわかりづらい部分はテキストの該当箇所を読み込む。重要と思う点は下線などを引きながら理解を深める。
- ④ 各問の間違った選択肢を正しい文章に直せるように知識を蓄え、定着させる。
- ⑤ 次回解くときに問題に正解できるだけでなく、各問の間違った選択肢の質問文を正しい内容に直すことができるようになる。



特に、③、④の作業が試験勉強の中心になります。この③と④を行い、⑤にたどりついていく。この作業を各科目地道に進めていけばOKです。こうした感じで進めていくと合格することができます! まず前期中に以下の2つに取り組んでいきましょう。

- ① 19科目の頻出分野の内容を理解する(すべての内容を勉強しようと思わなくて大丈夫!)
- ② 過去3年間の過去問を解き、上記の①から⑤までの作業を一通り行ってみる

どのように学習を始めればいいのか？

学習のためには、一定の教材が必要になります。必要な教材は以下の4点です。

テキスト（先輩たちは『社会福祉士国家試験のためのレビューブック』や中央法規『合格テキスト』を使っていることが多いです。自分が勉強しやすいものを選びましょう。）

過去問集（先輩たちは中央法規『過去問解説集』や『クエスチョンバンク社会福祉士』を使っていることが多いです。自分に合うと感じるものを選んでいきましょう。）

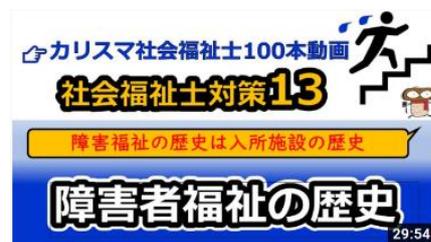
赤マル福祉

合格した先輩たちがよく活用していたのが赤マル福祉です。スマホで過去問を解いたり、解説を読んだりして学習することができます。学習記録も残るので、自分の学習の進捗を確認することができます。

社会福祉士対策に関する YouTube

先輩たちも活用し好評だったのが【カリスマ社会福祉士100本動画】です。私も見ていますが、とてもわかりやすいです。ぜひ見てみて活用してください。

※新年度のテキスト等は、
4月下旬頃に販売予定！



みんなで合格して笑顔になるために—これから何をすればいいの？

まずは①「社会福祉特別講座Ⅱ」に必ず毎回出席し、日替わりテスト・小テストを受けて、各科目の過去問にふれてきましょう。そして②テキストと過去問集を購入し過去問を解きながら、先ほど上で述べた学習の流れに沿って日々コツコツと学習に取り組んでいきましょう。

過去問も最初は全然間違っていていいです！先輩も皆そうでした。間違いながら一歩ずつ前に歩いていきましょう。そうした皆さんの地道な取り組みの先に「合格」が必ず待っています。みなさんが合格を手にして笑顔になれるよう、教職員一同応援していきます。

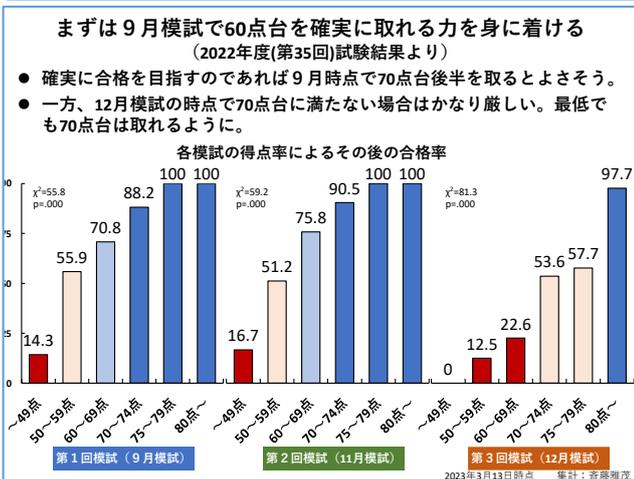
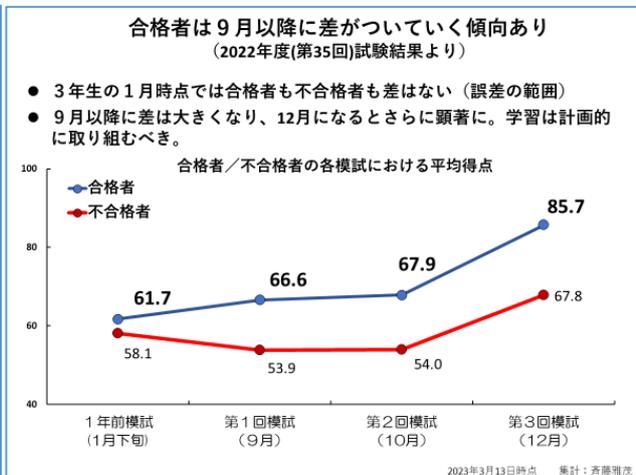
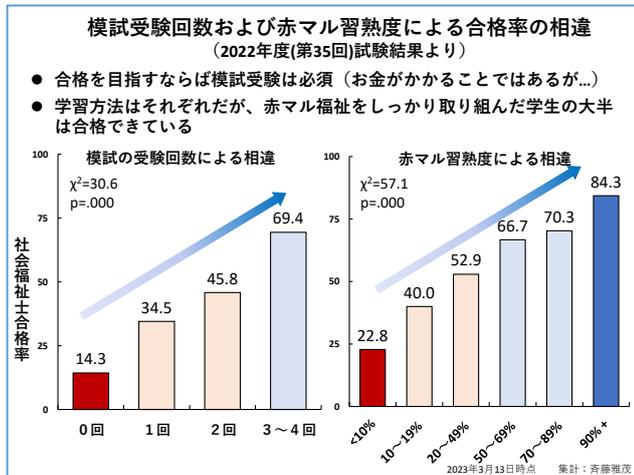


今日から試験本番まで、
一緒にがんばっていきましょう！



■データでみる合格への道■

齊藤雅茂先生が、2022 年度受験者のデータを分析していただきました。貴重なデータです。先輩たちの合格プロセスを参考に学習計画をたてましょう。



① 赤マル福祉をしっかりと取り組んだ人は合格しています。「どうやって勉強していいかわからない!」という人は赤マルを学習メニューに追加することがおすすめです。

② 4年生の現時点では大きな差はないはず。これからの頑張りで見れば模試等の得点差が出てきます。

③ 定期的に行われる模試で、目標得点が変わってきます。徐々に目標を上げていきましょう。

合格を目指して、みんなで頑張りましょう!

